

東日本ユニオン よこはま

JR東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 石垣 洋
編集者/ 教育・広報部

駅業務執行体制の再構築等について提案を受ける

11日、支社より「駅業務執行体制の再構築等について」提案を受けました。提案内容は以下のとおりです。

- 1 実施内容
駅遠隔システムの導入による営業体制の見直し
(1)制御駅
鎌倉駅（東口）
(2)被制御駅
鎌倉駅（西口）

- 2 周知・教育
必要な周知・教育は実施する。

変更後の標準数

- 3 実施日
2020年4月1日

箇所名	長	助役	営業	計	増減
鎌倉駅	1	5	22→21	28→27	△1

支社は提案内容とともに説明を行いました。

- ① 鎌倉駅西口が遠隔操作導入の理由の問いに支社は、今までの実績から実現可能と判断した。
- ② 西口も利用客が多いと思うが対応できるのか、また時間帯の問いに支社は、日中帯に比べると夜間早朝は少ない。可能と判断した。早朝時間帯中心に予定している。
- ③ 泊りを日勤化とイメージで良いかの問いに支社は、その通りで予定している。
- ④ 東口での対応人数の問いに支社は、1名でインターフォン等対応できる。
- ⑤ 鎌倉駅では社員1人につき月2回の休日出勤が発生している。さらに増えるのではないかの問いに支社は、要員としては△1となるので増えないと思う。
- ⑥ 1人で窓口をしつつ対応するのは大丈夫なのか。平常時より異常時の対応は、日勤時間帯の問いに支社は、異常時で対応ができるかどうかは駅長の指示となる。時間帯は現場と相談して決めていく。
- ⑦ 横須賀線は平常の時間が少ない。駅の社員が困らないように、社員に対する暴力行為にも防犯カメラなどでしっかり対応して欲しい。男性だけではなく女性が一人にいる時エマージェンシーなどでしっかりして欲しいとの問いに支社は、異常時は駅総対で対応していく。カメラは考えている。エマージェンシーについて不足すると思っていない。
- ⑧ 西口を江ノ電に投げっぱなしにならない対策はとの問いに支社は、江ノ電社員とは現場長を通してしっかり話をしていく。
- ⑨ ホーム上は常に混雑している。車いすなど案内は苦労している。ガードマン等の予定はとの問いに支社は、利用状況を見て対応していきたい。
- ⑩ 遠隔システムの具体的な教育は。不安解消の対策はとの問いに支社は、営業トレーニングセンターのデモ機を利用してしっかりやっていく。本使用前の3月中から稼働をして慣れてもらう予定。

不安・疑問点解消に向け、議論をつくり出します。